



ニッセイ米国株 テーマローテーションファンド (3ヵ月決算型)

(愛称) **さきよみ**

ニッセイ米国株 テーマローテーションファンド (資産成長型)

(愛称) **さきよみ (資産成長型)**

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込は



商号等: むさし証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



ニッセイアセットマネジメント株式会社

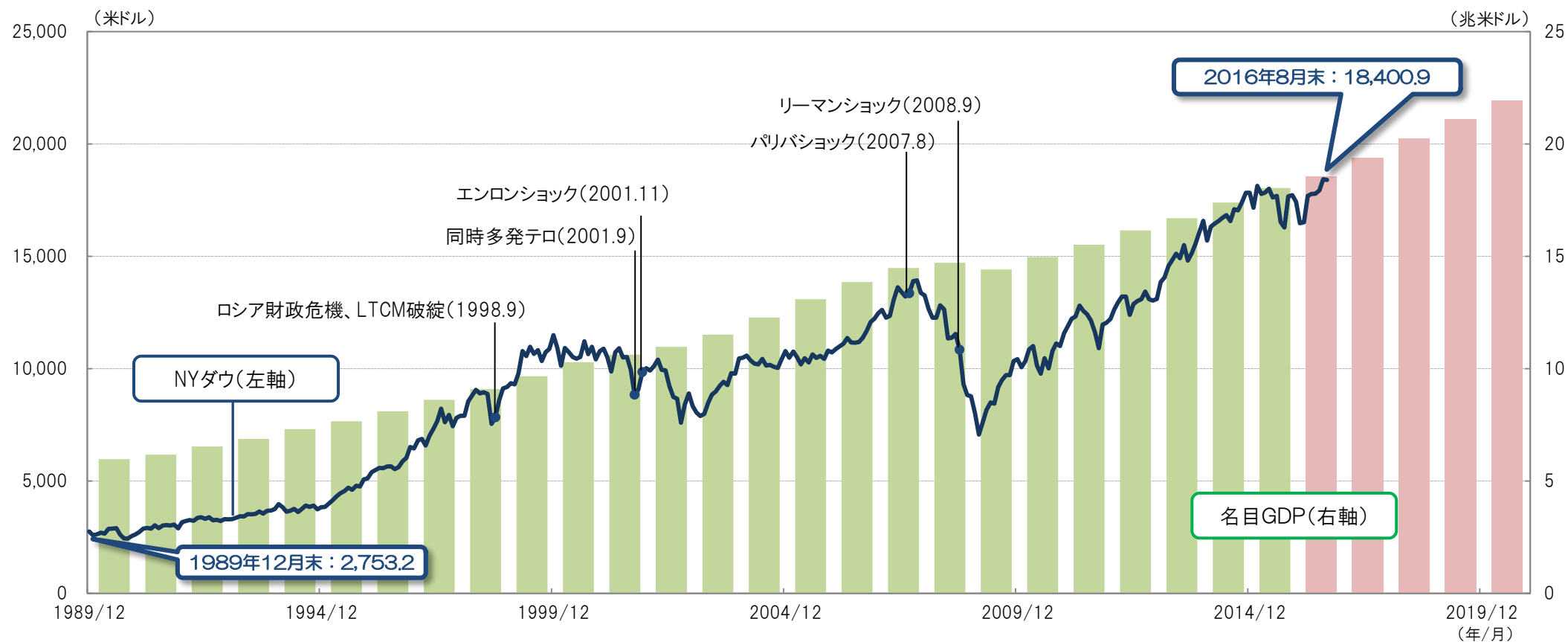
投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなります。
投資元本および利回りが保証された商品ではありません。

米国では経済成長とともに株価も上昇



- 米国では経済成長とともに、NYダウなどの代表的な株式指数も過去の高値を更新して上昇してきました。
- 主要先進国の中でも先行して景気回復を遂げた米国では今後も相対的に高い経済成長が見込まれており、持続的な株価の上昇が期待されます。

米国株式(NYダウ)、名目GDPの推移



出所)ブルームバーグ、IMFのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
NYダウは1989年12月末～2016年8月末(月次)
名目GDPは1990年～2020年(年次)、2016年以降はIMF予測値

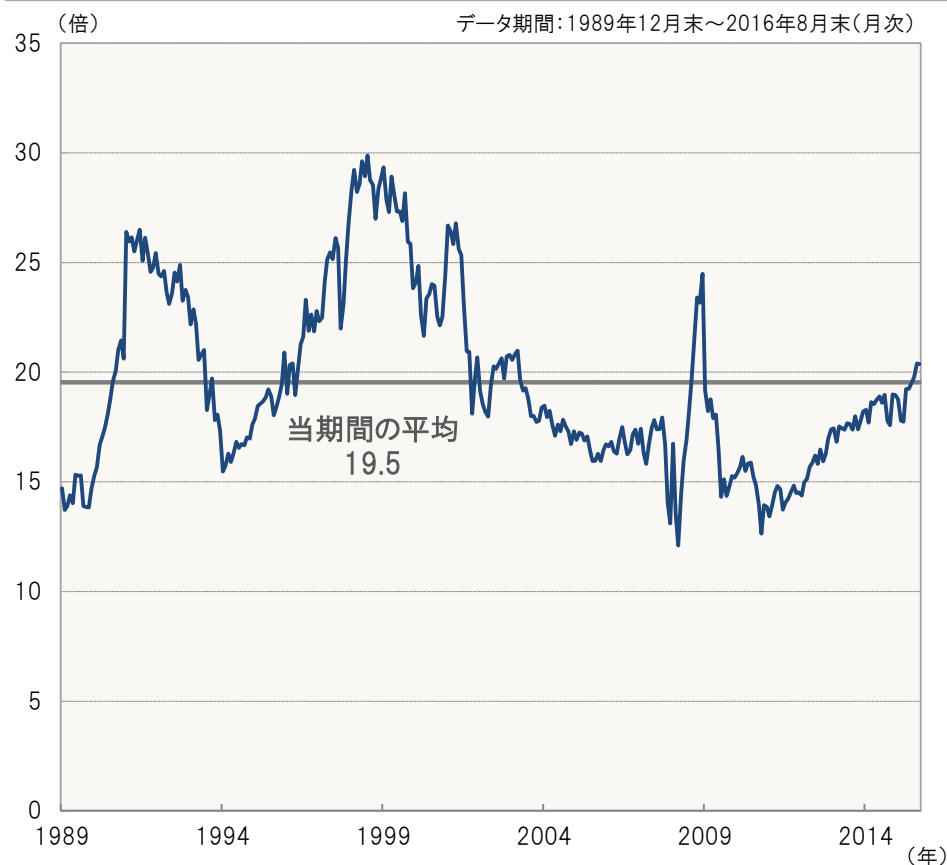
企業業績の拡大に伴い、更なる上昇が期待される米国株式



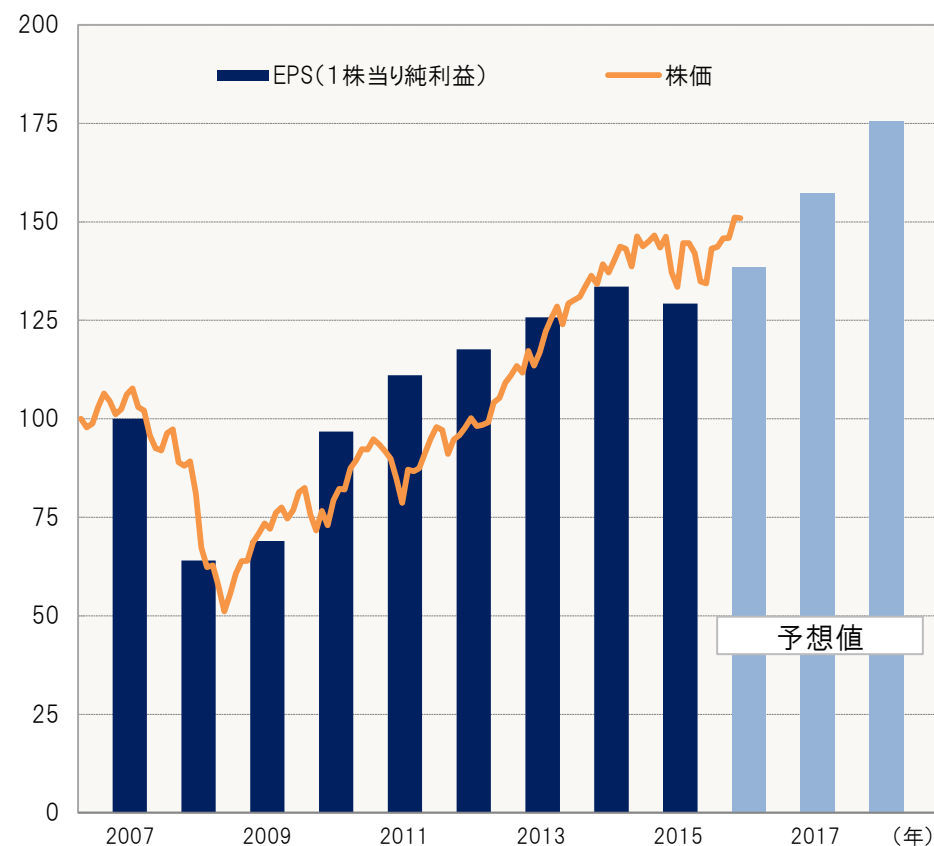
- 代表的なバリュエーション指標であるPER(株価収益率) をみると、足元の水準は過去平均程度であり、米国株式に過熱感はありません。
- リーマンショックにより大きく落ち込んだ米国の企業業績も回復し、更なる拡大が見込まれています。米国の株式市場は金融緩和に支えられた金融相場から、企業業績の拡大に裏付けされた業績相場へ移行し、更に上昇することが期待されます。

米国株式 PER(株価収益率)の推移

データ期間: 1989年12月末～2016年8月末(月次)



米国株式 企業業績と株価の推移



株式投資のポイントは「テーマローテーション」！

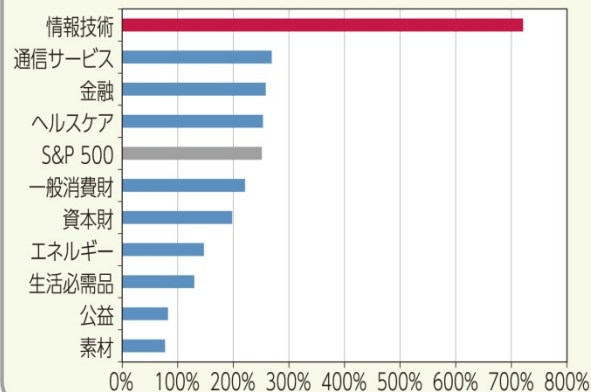


- 技術革新や社会構造の変化などを受け、株式市場が注目する投資テーマは時代とともに変化してきました。
- 株式市場をリードする投資テーマを「さきよみ」し、投資環境の変化に応じて「投資テーマの入替え（テーマローテーション）」を行うことが、良好なパフォーマンスを獲得する上でのポイントとなります。

IT革命

windows 95発売以降、PC(パーソナルコンピュータ)やインターネットが急速に普及。

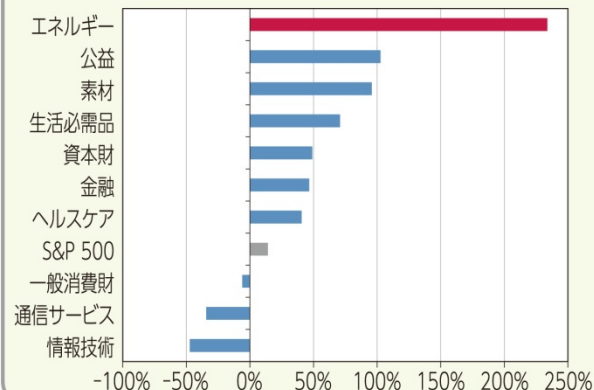
〈グラフ① 業種別パフォーマンス〉



資源高

中国をはじめとした新興国の経済発展に伴う需要の拡大を受け資源価格は大幅に上昇。

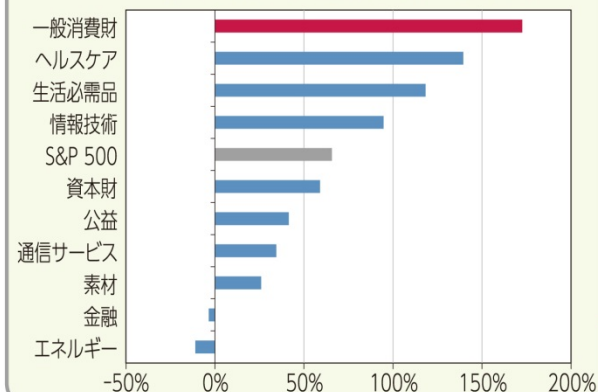
〈グラフ② 業種別パフォーマンス〉



消費拡大

2008年の世界的な金融危機後の低金利や景気の回復を受けた消費の拡大。

〈グラフ③ 業種別パフォーマンス〉



1990年

2000年

2015年

次のテーマを
さきよみ!!

出所)ファクトセットのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成、業種別パフォーマンスはS&P500指数の業種別パフォーマンス(米ドルベース)を示しています。
データ期間:グラフ①1994年末～1999年末、グラフ②1999年末～2007年末、グラフ③2007年末～2015年末

当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ニッセイ米国株
テーマローテーションファンド(3ヵ月決算型)
(愛称) **さきよみ**

ニッセイ米国株
テーマローテーションファンド(資産成長型)
(愛称) **さきよみ(資産成長型)**

のご紹介



1 景気回復が先行する米国の株式に投資！

- ・日本や欧州に比べ、先行して景気回復が見込まれる米国の株式が投資対象です。

2 株式投資の観点から魅力的な投資テーマを先読みし選定、各テーマから株価上昇が見込まれる銘柄を厳選！

- ・短期(6ヵ月～1年程度)、中期(1年～3年程度)、長期(3年以上)と時間軸の異なる複数の投資テーマを選定します。
- ・各投資テーマに関連する企業の中からボトムアップ・アプローチで組入銘柄を厳選します。

時間軸	短期	中期	長期
構成比	50%程度	30%程度	20%程度
特徴	短期間でリターンの獲得が期待出来る	大きなリターンの獲得が期待出来る	
留意点	▶市場が投資テーマをすでに織り込み済みの場合、高値掴みとなる懸念がある ▶頻繁なテーマ入替えに伴う売買コストの増加がパフォーマンスの悪化要因となる懸念がある	▶期待するパフォーマンスが実現するまでに要する時間が長い ▶時間の経過に伴う投資環境の変化によって、短期テーマと比較すると期待するパフォーマンスが実現する不確実性が高い	

3 投資環境の変化に応じ、投資テーマの入替え(テーマローテーション)を機動的に実施！

- ・徹底した調査・分析を通じて、新たな投資テーマの発掘に継続的に取り組みます。
- ・投資テーマ、組入銘柄の入替えを機動的に行い、信託財産の成長をめざします。

時間軸の異なる複数のテーマへ分散投資 短期の投資テーマ別組入比率(2016年8月末現在)



時間軸	投資テーマ	比率	注目点	銘柄例
短期	インフラ企業の再生	19.7%	株価が割安となっており、収益・財務の改善から今後の株価反発が期待される独立発電所・鉄道事業・通信インフラ企業に着目します。	ノキア、カナディアン・パシフィック鉄道 他
短期	消費関連企業復活	11.3%	昨今の雇用市場の回復は、平均賃金の上昇を促し、個人消費を助長し始めています。過去の緩慢な個人消費の回復傾向に対応して、リストラ・コスト改革を積極的に推進し、利益率を高めて来た優良消費関連企業は、今後の個人消費復活に伴って利益の上昇が期待できます。利益率の高い優良消費関連企業に着目します。	ドクターペッパー・スナップル・グループ、ペプシコ 他
短期	低所得層の消費増加	8.0%	米国における雇用の裾野の広がり、最低賃金引き上げの傾向、家計におけるエネルギー支出の低下が、特に低所得者層への消費を刺激すると予想しています。ディスカウントショップ・1ドルショップなど低所得層の利用頻度の高い小売店などに着目します。	マクドナルド、ダラー・ツリー 他
短期	航空機整備市場サイクルの到来	6.2%	航空輸送量の大幅な増加に伴い恩恵を受ける航空機等の整備関連事業に注目し、付加価値の高い航空機部品供給企業へ着目します。	ハイコ、トランスダイム・グループ 他

上記はファンドが主に投資対象とする「TCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンド」の状況を表示しており、TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料(現地月末前日基準)に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。投資テーマはTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるもので、比率は対組入株式等評価額比を示しています。上記は、特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

短期の投資テーマ 「消費関連企業復活」の関連銘柄



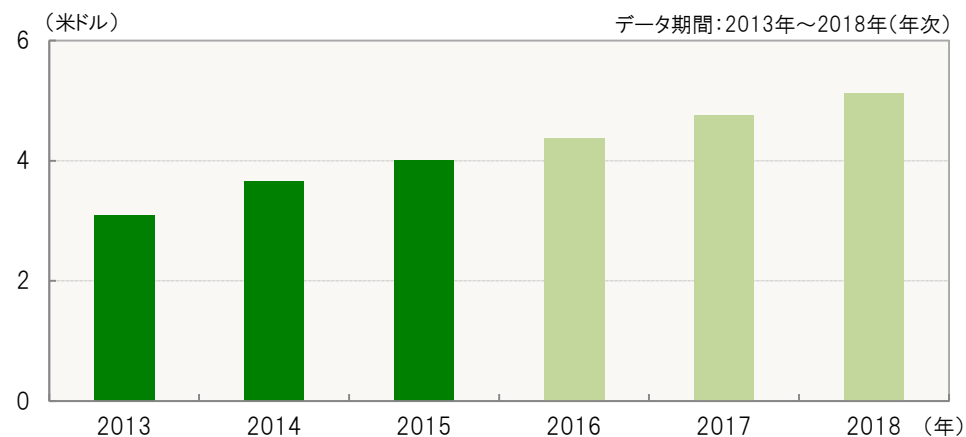
ドクターペッパー・スナップル・グループ

- ドクターペッパーやカナダドライを始めとする自社ブランドのノンアルコール飲料を製造・販売する世界的な清涼飲料メーカー。
- 米国テキサス州プレイノに本社を構え、米国・メキシコ・カナダを中心に事業を展開。今後の個人消費復活に伴って利益の上昇が期待される。



※上記はイメージです。

EPS(1株当たり純利益)の推移



株価の推移



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

株価は2011年8月末を100として指数化

EPS(1株当たり純利益)の2016年以降は予想値(2016年10月現在のブルームバーグ集計値)

上記は、特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

短期の投資テーマ 「航空機整備市場サイクルの到来」の関連銘柄



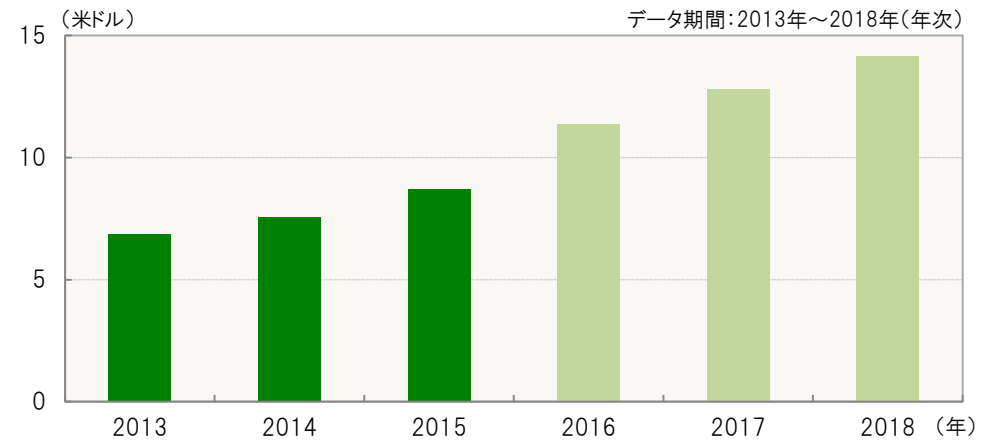
トランスダイム・グループ

- 米国の航空部品メーカーの持株会社。子会社を通じ、商用および軍用航空機で使用する航空機部品を設計、製造、販売。
- 収益性の高い新規ビジネスを取得する営業戦略で付加価値を提供。



※上記はイメージです。

EPS(1株当たり純利益)の推移



株価の推移



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

株価は2011年8月末を100として指数化

EPS(1株当たり純利益)の2016年以降は予想値(2016年10月現在のブルームバーグ集計値)

上記は、特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

時間軸の異なる複数のテーマへ分散投資 中期・長期の投資テーマ別組入比率(2016年8月末現在)



時間軸	投資テーマ	比率	注目点	銘柄例
中期	クラウド・コンピューティングの拡大	18.8%	デジタル消費の拡大に伴い成長が期待されるソーシャルメディア企業、クラウドインフラ構築企業、ビッグデータの分析・解析を行う企業に着目します。	セールスフォース・ドットコム、サービスナウ 他
中期	天然ガスの生産量増加	6.1%	シェール革命に伴う天然ガスの中長期的な利用拡大で恩恵を受ける企業に着目します。	メモリアル・リソース・デベロップメント、キャボット・オイル＆ガス 他
中期	医薬品需要の増加	5.8%	高齢化等の進展に伴い中長期的に需要の増加が見込まれる医薬品関連企業、特にジェネリック・専門薬品の大手医薬品卸企業に着目します。	カーディナルヘルス、アメリソスバーゲン 他

時間軸	投資テーマ	比率	注目点	銘柄例
長期	医療の技術革新	15.9%	免疫療法、遺伝子療法など革新的な医療技術や新薬を開発中の企業に着目します。	セルジーン、アラガン 他
長期	未来の自動車への期待	8.2%	技術革新が著しい自動車関連企業に注目します。特にドライバーの安全運転支援、電気自動車、自動運転技術等を提供する企業に着目します。	モービルアイ、マグナ・インターナショナル 他

上記はファンドが主に投資対象とする「TCWファンズⅡーTCWテーマローテーション株式ファンド」の状況を表示しており、TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料(現地月末前日基準)に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。投資テーマはTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるもので、比率は対組入株式等評価額比を示しています。上記は、特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

中期の投資テーマ 「クラウド・コンピューティングの拡大」の関連銘柄



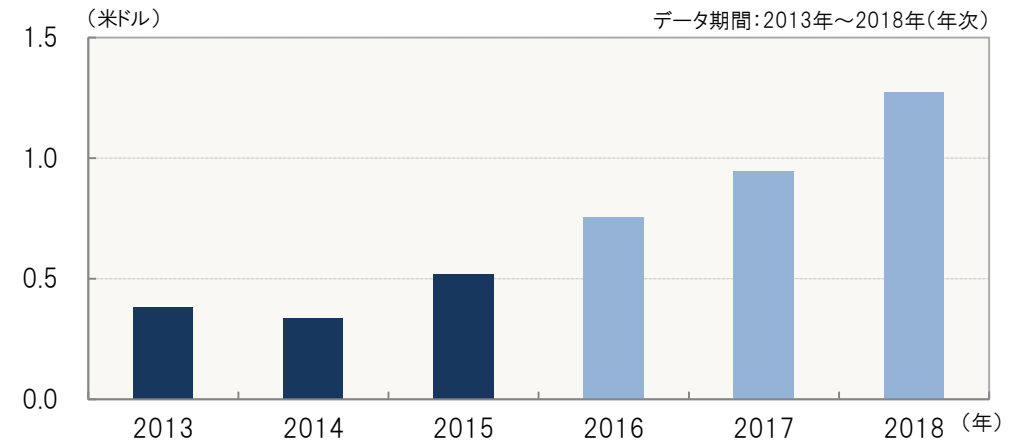
セールスフォース・ドットコム

- 米国サンフランシスコに本社を置くソフトウェア・メーカー。
- 同社製品は大手企業のみならず中堅・中小企業まであらゆる業種・規模のCRM※等に利用されており、CRMソフトウェアで世界大手。デジタル消費の拡大に伴い更なる成長が期待される。
※顧客の属性や接触履歴等を記録・管理し、きめ細かい対応で顧客満足度を向上させる情報システム



※上記はイメージです。

EPS(1株当たり純利益)の推移



株価の推移



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

株価は2011年8月末を100として指数化

EPS(1株当たり純利益)の2016年以降は予想値(2016年10月現在のブルームバーグ集計値)

上記は、特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

中期の投資テーマ 「医薬品需要の増加」の関連銘柄



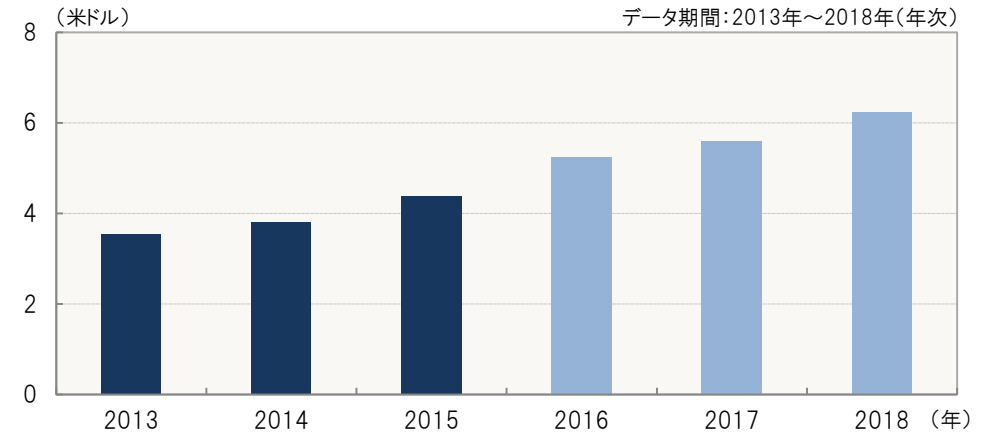
カーディナルヘルス

- 米国オハイオ州ダブリンに本社を置き、医療品・ヘルスケア製品の販売や薬小売チェーンのフランチャイズ等を手掛ける会社。
- 世界中の薬局・病院・診療所等にサービスを提供。高齢化等の進展に伴い、中長期的に需要の増加が見込まれる。



※上記はイメージです。

EPS(1株当り純利益)の推移



株価の推移



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

株価は2011年8月末を100として指数化

EPS(1株当り純利益)の2016年以降は予想値(2016年10月現在のブルームバーグ集計値)

上記は、特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

長期の投資テーマ 「医療の技術革新」の関連銘柄



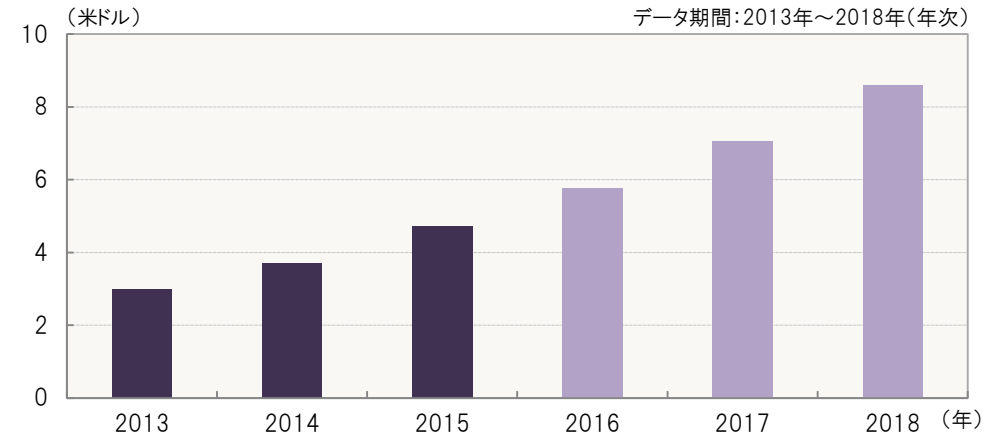
セルジーン

- がん及び免疫・炎症関連疾患向け治療薬の発見、開発、商品化に注力するバイオ医薬品メーカー。
- 血液・腫瘍や、深刻な炎症・免疫性疾患の領域における研究開発に注力しており、世界50カ国以上に展開する事業所で数多くの研究、臨床試験を実施。革新的な医療技術や新薬の開発を進めている。

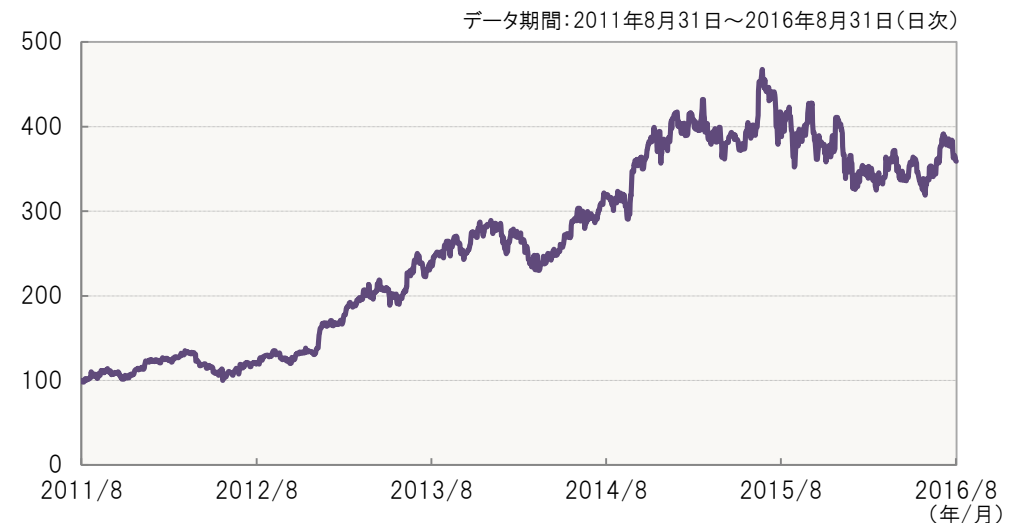


※上記はイメージです。

EPS(1株当たり純利益)の推移



株価の推移



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

株価は2011年8月末を100として指数化

EPS(1株当たり純利益)の2016年以降は予想値(2016年10月現在のブルームバーグ集計値)

上記は、特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

ファンドの特色



1. 米国株式に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざします。

- 米国の証券取引所に上場している株式を実質的な主要投資対象とします。
- 実質的な組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジ※を行いません。
※為替ヘッジとは、為替変動による資産価値の変動を回避する取引のことをいいます。

2. 株式投資の観点から魅力的な投資テーマを選定、株価上昇が期待される関連銘柄に厳選投資します。 なお、投資テーマの入替えは機動的に行います。

- 徹底した調査・分析に基づき、短期(6ヵ月～1年程度)、中期(1年～3年程度)、長期(3年以上)と時間軸の異なる複数の投資テーマを選定します。
なお、投資テーマの入替え(テーマローテーション)は機動的に行います。
- 各投資テーマに関連する企業の中からボトムアップ・アプローチで組入銘柄を厳選します。

3. 米国株式の実質的な運用はTCWアセット・マネジメント・カンパニーが行います。

【TCWアセット・マネジメント・カンパニーについて】

TCWアセット・マネジメント・カンパニーは、1971年設立のTCWグループ(以下「TCW」といいます)傘下のグローバル資産運用会社です。TCWは米国、英国、日本、香港に拠点を有し、機関投資家、年金基金、個人投資家向けに幅広い運用サービスを提供しています。2016年6月末現在のTCWの運用資産額は、1,946億米ドル(約20.0兆円、1米ドル=102.91円で換算)です。

4. 年4回決算を行う「3ヵ月決算型」と年1回決算を行う「資産成長型」 決算回数の異なる2つのファンドからお選びいただけます。

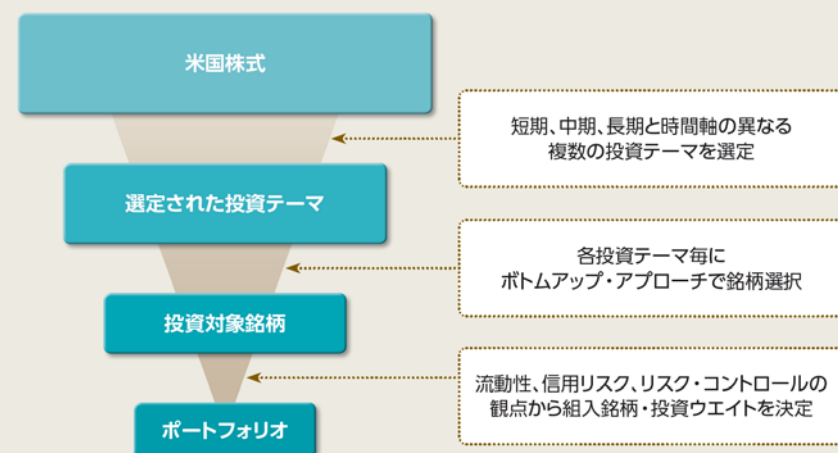
<3ヵ月決算型>

- 2・5・8・11月の各12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

<資産成長型>

- 毎年2月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

運用プロセスイメージ

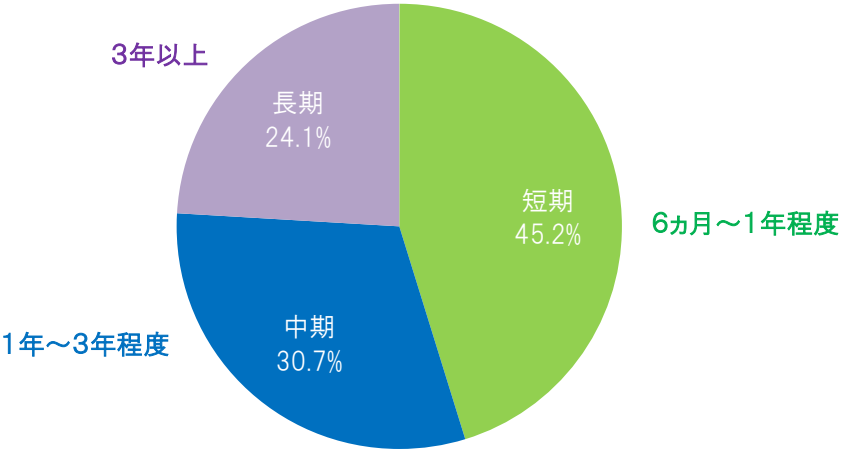


・上記運用プロセスは、今後変更となる場合があります。

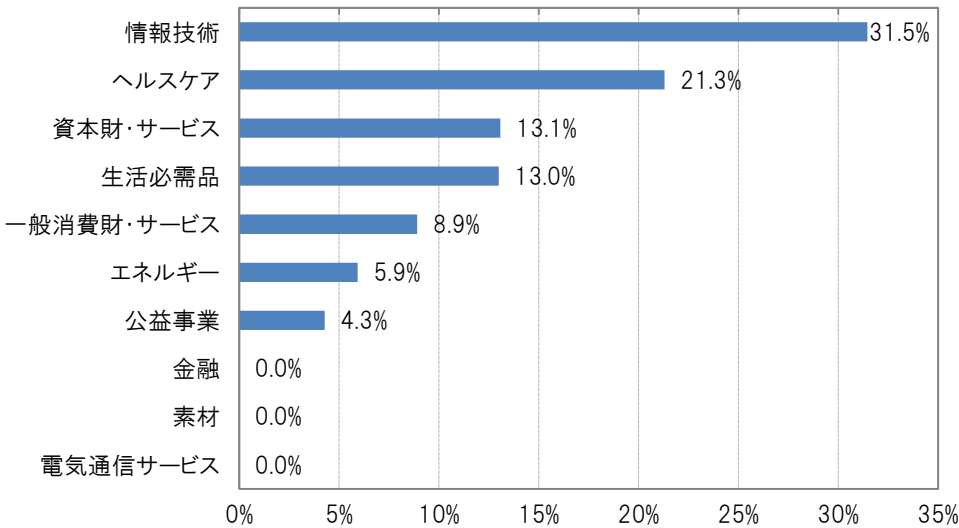
投資対象ファンドの状況(2016年8月末現在)



投資テーマ 時間軸別構成比



業種別組入比率



組入上位10銘柄 (銘柄数:47)

	銘柄	＜時間軸＞投資テーマ	比率
		業種	
1	モンデリーズ・インターナショナル	＜短期＞消費関連企業復活 生活必需品	3.4%
2	モービルアイ	＜長期＞未来の自動車への期待 情報技術	3.2%
3	ノキア	＜短期＞インフラ企業の再生 情報技術	3.0%
4	サービスナウ	＜中期＞クラウド・コンピューティングの拡大 情報技術	3.0%
5	ペプシコ	＜短期＞消費関連企業復活 生活必需品	2.8%
6	セルジーン	＜長期＞医療の技術革新 ヘルスケア	2.8%
7	セールスフォース・ドットコム	＜中期＞クラウド・コンピューティングの拡大 情報技術	2.7%
8	メモリアル・リソース・デベロップメント	＜中期＞天然ガスの生産量増加 エネルギー	2.5%
9	ジュニパーネットワークス	＜短期＞インフラ企業の再生 情報技術	2.5%
10	シエナ	＜短期＞インフラ企業の再生 情報技術	2.5%

※投資テーマ 時間軸別構成比:対組入株式等評価額比、業種別組入比率・組入上位10銘柄:対純資産総額比
※業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。
投資対象ファンドの状況は、当ファンドが主に投資対象とする「TCWファンズⅡーTCWテーマローテーション株式ファンド」の状況を表示しており、TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料(現地月末前日基準)に基づきニッセイアセット・マネジメントが作成しています。



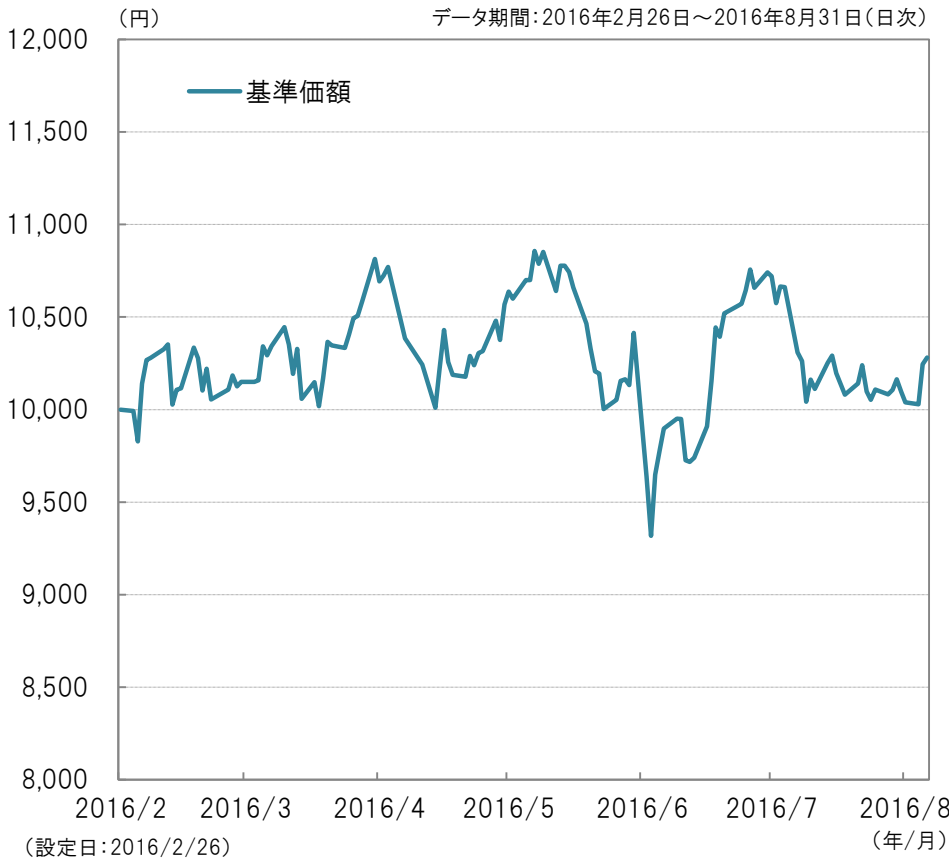
基準価額、分配金(1万口当り、税引前)の推移

<3ヵ月決算型>



決算	第1期	第2期	第3期	第4期	設定来累計
	2016年5月	2016年8月	2016年11月	2017年2月	2016年8月末現在
分配金	0円	0円	-	-	0円

<資産成長型>



決算	第1期	第2期	第3期	第4期	設定来累計
	2017年2月	2018年2月	2019年2月	2020年2月	2016年8月末現在
分配金	-	-	-	-	-

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。
※収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。

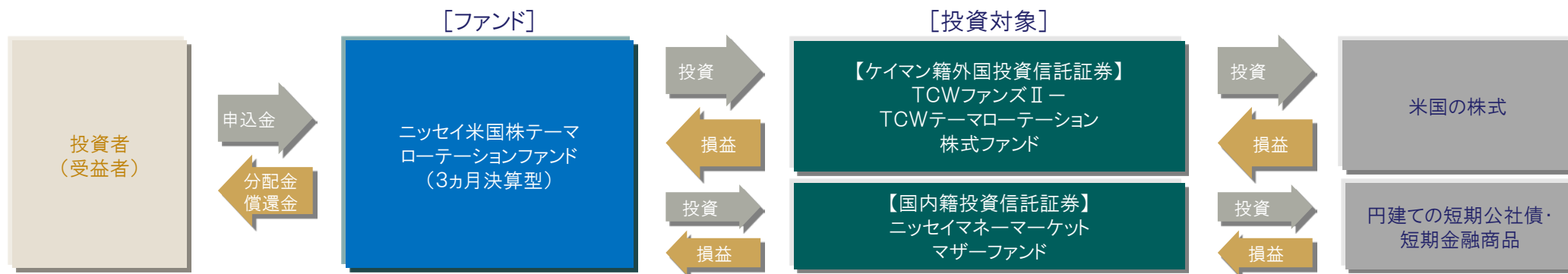
ファンドの仕組み



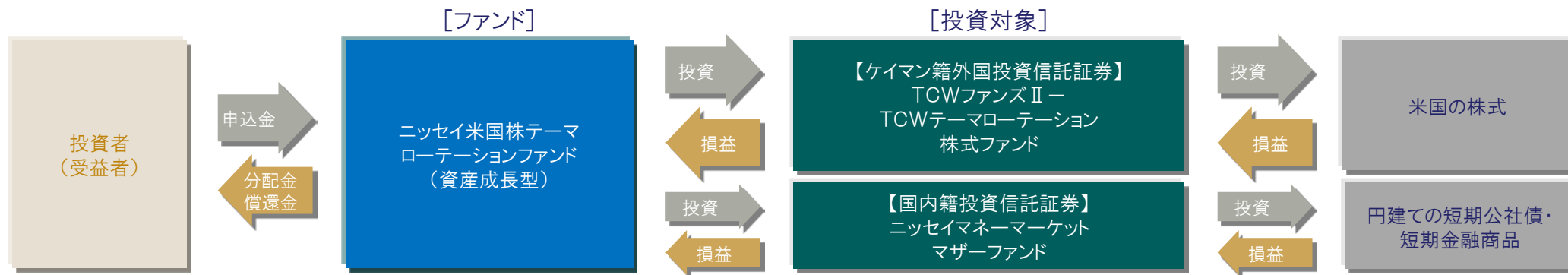
■ ファンド・オブ・ファンズ* 方式により運用を行います。主たる投資対象であるTCWファンズⅡ－TCWテーマローテーション株式ファンドは、米国の大手資産運用会社TCWアセット・マネジメント・カンパニーが運用を行います。

*ファンド・オブ・ファンズとは、投資対象を投資信託証券とするファンドです。

＜ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(3ヵ月決算型)＞



＜ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(資産成長型)＞



【TCWアセット・マネジメント・カンパニーについて】

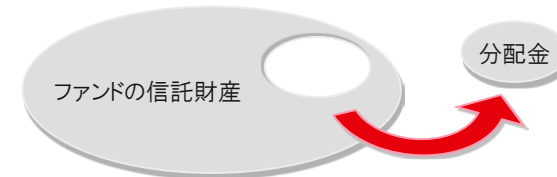
TCWアセット・マネジメント・カンパニーは、1971年設立のTCWグループ(以下「TCW」といいます)傘下のグローバル資産運用会社です。TCWは米国、英国、日本、香港に拠点を有し、機関投資家、年金基金、個人投資家向けに幅広い運用サービスを提供しています。2016年6月末現在のTCWの運用資産額は、1,946億米ドル(約20.0兆円、1米ドル＝102.91円で換算)です。

分配金に関する留意事項



- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

ファンドで分配金が支払われるイメージ

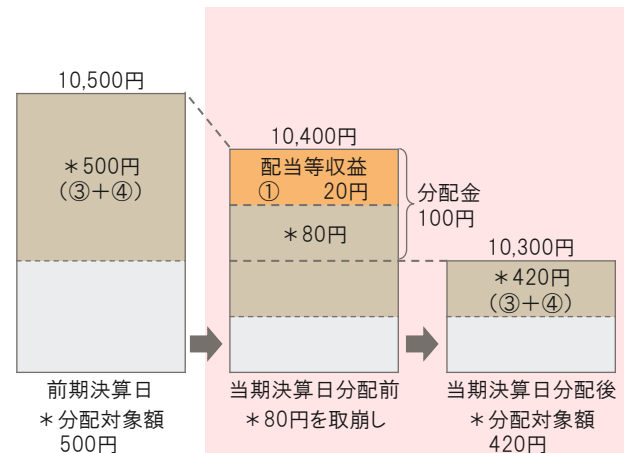
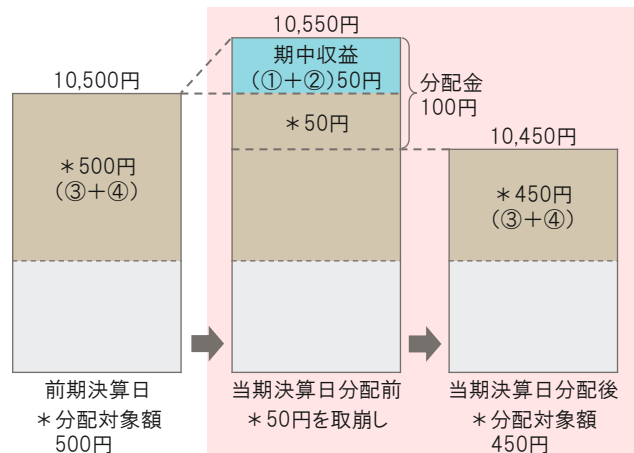


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合

前期決算日から基準価額が下落した場合



※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配準備積立金：期中収益（①および②）のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。

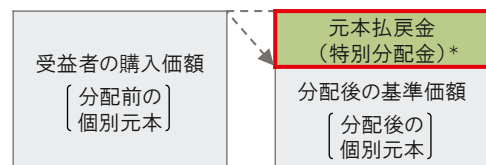
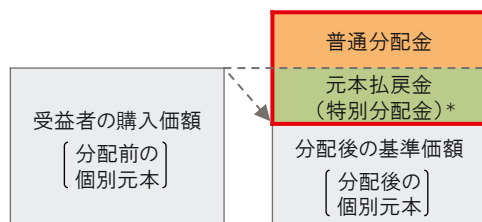
収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

※左記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



* 実質的に元本の一部払戻しに相当する元本払戻金(特別分配金)が支払われると、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

・基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

ご留意いただきたい事項

- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

当資料で使用している指数について

- S&P各種指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はスタンダード・プアーズ(以下「S&P」といいます。)に帰属します。S&PはS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、またS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して保証等の責任を負うものではありません。

お申込みメモ／ファンドの費用



お申込みメモ

購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金の申込みの受け付けを行いません。
信託期間	平成33年2月12日まで(設定日:平成28年2月26日)
繰上償還	委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。
決算日	●ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(3ヵ月決算型) 2・5・8・11月の各12日(該当日が休業日の場合は翌営業日) ●ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(資産成長型) 2月12日(該当日が休業日の場合は翌営業日)
収益分配	●ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(3ヵ月決算型) 年4回の毎決算日に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。 ●ニッセイ米国株テーマローテーションファンド(資産成長型) 年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

■ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用			
購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.24%(税抜3.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。	
換金時	信託財産留保額	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率 1.323%(税抜1.225%) をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。	
		投資対象とする 外国投資信託証券	年率 0.63% 程度
		実質的な負担	ファンドの純資産総額に 年率1.953%(税込)程度 をかけた額となります。 ・上記は目安であり、各指定投資信託証券への投資比率が変動することにより、投資者が負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は変動します。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率 0.0108%(税抜0.01%) をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。	
随時	その他の費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

■当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。なお、「ファンドの費用」に記載の消費税等相当額を付加した各種料率は、消費税率に応じて変更となる場合があります。

■詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

●委託会社(ファンドの運用の指図を行います)
ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会:一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
コールセンター 0120-762-506(午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます) ホームページ <http://www.nam.co.jp/>

●受託会社(ファンドの財産の保管および管理を行います)
三菱UFJ信託銀行株式会社